

平成23年度 財政状況資料集

総括表（市町村）

都道府県名	福島県		市町村類型	I - O	指定団体等の指定状況		区分		平成23年度(千円)	平成22年度(千円)	区分		平成23年度(千円・%)	平成22年度(千円・%)					
					財政健全化等	×	歳入総額	16,382,702	実質収支比率	17.3	11.7								
市町村名	相馬市		地方交付税種地	1-2	財源超過	×	歳入総額	40,473,759	14,921,306	經常収支比率	92.9	78.3							
					首都	×	歳入歳出差引	1,988,748	1,461,396	(※1)	(99.9)	(84.8)							
					近畿	×	翌年度に繰越すべき財源	412,018	381,499	標準財政規模	9,117,489	9,262,092							
						×	実質収支	1,576,730	1,079,897	財政力指数	0.55	0.55							
人口	22年国調(人)	37,817	産業構造(※5)		中部	×	単年度収支	496,833	562,326	公債費負担比率	9.4	11.8							
	17年国調(人)	38,630			過疎	×	積立金	279,784	14,637	健全化判断比率									
	増減率(%)	-2.1			山振	○	繰上償還金	-	-	実質赤字比率	-	-							
住民基本台帳人口	24.03.31(人)	36,601	第1次	1,722	2,173	低開発	○	積立金取崩し額	-	364,613	連結実質赤字比率	-	-						
	23.03.31(人)	37,568		10.2	11.5	指数表選定	○	実質単年度収支	776,617	212,350	実質公債費比率	17.7	19.6						
	増減率(%)	-2.6		5,689	6,309			基準財政収入額	3,970,025	3,934,366	将来負担比率	133.6	190.1						
面積(km ²)	197.67		第2次	33.8	33.4			基準財政需要額	7,317,093	7,356,376	資金不足比率(※4)								
人口密度(人/km ²)	191			9,406	10,397			標準税収収入額等	5,093,306	5,049,394	公共下水道事業	27.2							
世帯数(世帯)	13,227			55.9	55.0			經常経費充当一般財源等	8,897,269	8,096,751									
職員の状況																			
特別職等	区分	定数	1人あたり平均給料月額(百円)	一般職員等	区分	職員数(人)	給料月額(百円)	1人あたり平均給料月額(百円)	地方債現在高	13,815,394	14,325,946								
	市区町村長	1	4,925		一般職員	265	873,175	3,295	うち公的資金	12,564,923	12,988,014								
	副市区町村長	1	5,925		うち消防職員	-	-	-	債務負担行為額(支出予定額)	10,607,620	8,873,351								
	教育長	1	5,513		うち技能労務職員	37	118,400	3,200	収益事業収入	-	-								
	議会議長	1	4,450		教育公務員	8	29,424	3,678	土地開発基金現在高	840,541	840,458								
	議会副議長	1	3,950		臨時職員	-	-	-	積立金	3,656,351	2,886,567								
	議会議員	18	3,750		合計	273	902,599	3,306	減債基金	561,332	557,506								
					ラスバイレス指数(※6)		109.6	(101.3)	其他特定目的基金	17,701,506	315,193								
	一般会計等の一覧																		
	項番	会計名	事業会計の一覧			公営企業(法適)の一覧			公営企業(法非適)の一覧		関係する一部事務組合等一覧				地方公社・第三セクター等一覧		(※3)		
(1)	一般会計	(3)	国民健康保険特別会計				(6)	公共下水道事業	(8)	相馬地方広域市町村圏組合一般会計	(18)	相馬市振興公社							
(2)	光陽地区造成事業特別会計	(4)	介護保険特別会計				(7)	農業集落排水事業	(9)	相馬地方広域市町村圏組合看護専門学校特別会計	(19)	相馬総合卸売市場							
		(5)	後期高齢者医療事業会計						(10)	相馬方部衛生組合一般会計	(20)	相馬リサイクルセンター							
									(11)	相馬方部衛生組合相馬方部訪問看護ステーション事業特別会計	(21)	相馬地方土地開発公社							
									(12)	相馬方部衛生組合公立相馬総合病院事業会計									
									(13)	福島県市民交通災害共済組合									
									(14)	相馬地方広域水道企業団									
									(15)	福島県後期高齢者医療広域連合一般会計									
									(16)	福島県後期高齢者医療広域連合後期高齢者特別会計									
									(17)	福島県市町村総合事務組合一般会計									

(注釈) ※1: 經常収支比率の()内の数値は、「減収補填債(特例分)」及び「臨時財政対策債」を除いて算出したものである。
 ※2: 各会計の一覧は主な会計(10会計まで)を記載している。
 ※3: 地方公共団体が損失補填等を行っている出資法人で、健全化法の算出対象となっている団体については、「地方公社・第三セクター等」の団体名に○印を付与している。
 ※4: 資金不足比率欄には、資金が不足している会計のみ記載している。
 ※5: 産業構造の比率は、分母を就業人口総数とし、平成22年国調は分類不能の産業を除き、平成17年国調は分類不能の産業を含んでいる。
 ※6: ラスバイレス指数の()内の数値は、国家公務員の時限的な(2年間)給与改定特例法による措置が無いとした場合の値である。

(1) 普通会計の状況(市町村)

歳入の状況(単位:千円・%)				地方税の状況(単位:千円・%)				
区分	決算額	構成比	経常一般財源等	構成比	区分	収入済額	構成比	超過課税分
地方税	4,107,505	9.7	4,107,505	46.1	普通税	4,107,397	100.0	101,538
地方譲与税	229,502	0.5	229,502	2.6	法定普通税	4,107,397	100.0	101,538
利子割交付金	9,649	0.0	9,649	0.1	市町村民税	1,476,999	36.0	12,709
配当割交付金	4,330	0.0	4,330	0.0	個人均等割	51,967	1.3	-
株式等譲渡所得割交付金	906	0.0	906	0.0	所得割	1,134,713	27.6	-
地方消費税交付金	351,028	0.8	351,028	3.9	法人均等割	107,925	2.6	-
ゴルフ場利用税交付金	-	-	-	-	法人税割	182,394	4.4	12,709
特別地方消費税交付金	-	-	-	-	固定資産税	2,224,420	54.2	88,829
自動車取得税交付金	36,756	0.1	36,756	0.4	うち純固定資産税	2,213,896	53.9	88,829
軽油引取税交付金	-	-	-	-	軽自動車税	75,124	1.8	-
地方特例交付金	53,924	0.1	53,924	0.6	市町村たばこ税	330,854	8.1	-
児童手当及び子ども手当特例交付金	27,191	0.1	27,191	0.3	釧産税	-	-	-
減収補填特例交付金	26,733	0.1	26,733	0.3	特別土地保有税	-	-	-
地方交付税	6,677,642	15.7	3,354,057	37.7	法定外普通税	-	-	-
普通交付税	3,354,057	7.9	3,354,057	37.7	目的税	108	0.0	-
特別交付税	1,724,709	4.1	-	-	法定目的税	108	0.0	-
震災復興特別交付税	1,598,876	3.8	-	-	入湯税	108	0.0	-
(一般財源計)	11,471,242	27.0	8,147,657	91.5	事業所税	-	-	-
交通安全対策特別交付金	7,040	0.0	7,040	0.1	都市計画税	-	-	-
分担金・負担金	128,784	0.3	-	-	水利地益税等	-	-	-
使用料	97,381	0.2	7,985	0.1	法定外目的税	-	-	-
手数料	821,364	1.9	595,844	6.7	旧法による税	-	-	-
国庫支出金	21,237,943	50.0	-	-	合計	4,107,505	100.0	101,538
国有提供交付金(特別区財調交付金)	-	-	-	-				
都道府県支出金	4,253,714	10.0	-	-				
財産収入	107,480	0.3	20,350	0.2				
寄附金	1,432,291	3.4	-	-				
繰入金	143,413	0.3	-	-				
繰越金	971,296	2.3	-	-				
諸収入	1,065,159	2.5	129,064	1.4				
地方債	725,400	1.7	-	-				
うち減収補填債(特例分)	-	-	-	-				
うち臨時財政対策債	670,100	1.6	-	-				
歳入合計	42,462,507	100.0	8,907,940	100.0				

区分		平成23年度		平成22年度	
徴収率	現・計	97.5	85.9	96.2	86.0
(%)	年	97.4	88.4	97.2	89.5
		97.1	83.5	95.2	83.6

公営事業等への繰出		国民健康保険事業会計の状況	
合計	2,428,897	実質収支	338,814
下水道	955,437	再差引収支	273,427
病院	403,207	加入世帯数(世帯)	5,985
上水道	25,383	被保険者数(人)	11,098
工業用水道	-	被保険者	76
国民健康保険	266,073	1人当り	151
その他	778,797	保険税(料)収入額	259
		国庫支出金	151
		保険給付費	259

(注釈)

普通建設事業費の補助事業費には受託事業費のうちの補助事業費を含み、単独事業費には同級他団体施行事業負担金及び受託事業費のうちの単独事業費を含む。

歳入の状況(単位:千円・%)					
目的別歳入の状況(単位:千円・%)					
区分	決算額(A)	構成比	(A)のうち普通建設事業費	(A)のうち充当一般財源等	
議会費	230,610	0.6	-	230,610	
総務費	19,229,701	47.5	22,569	2,150,068	
民生費	11,126,063	27.5	6,053	2,885,015	
衛生費	1,955,321	4.8	136,872	1,614,591	
労働費	141,646	0.3	-	40,448	
農林水産業費	1,013,438	2.5	255,341	512,775	
商工費	186,472	0.5	-	114,630	
土木費	1,944,102	4.8	703,834	1,629,742	
消防費	599,438	1.5	53,692	590,899	
教育費	1,686,226	4.2	351,479	1,535,199	
災害復旧費	812,587	2.0	-	486,299	
公債費	1,497,806	3.7	-	1,435,718	
諸支出費	50,349	0.1	50,349	50,349	
前年度繰上充用金	-	-	-	-	
歳出合計	40,473,759	100.0	1,580,189	13,276,343	

性質別歳入の状況(単位:千円・%)					
区分	決算額	構成比	充当一般財源等	経常経費充当一般財源等	経常収支比率
義務的経費計	8,775,568	21.7	5,662,395	4,869,362	50.8
人件費	3,170,983	7.8	2,822,436	2,755,136	28.8
うち職員給	1,884,009	4.7	1,561,147	-	-
扶助費	4,106,779	10.1	1,404,241	678,508	7.1
公債費	1,497,806	3.7	1,435,718	1,435,718	15.0
元利償還金	1,497,806	3.7	1,435,718	1,435,718	15.0
内 うち元金	1,235,952	3.1	1,173,864	1,173,864	12.3
訳 うち利子	261,854	0.6	261,854	261,854	2.7
一時借入金利子	-	-	-	-	-
その他の経費	29,305,415	72.4	5,858,634	4,027,907	42.1
物件費	6,511,161	16.1	1,539,661	1,191,060	12.4
維持補修費	179,310	0.4	174,602	140,200	1.5
補助費等	2,572,126	6.4	1,795,936	1,491,642	15.6
うち一部事務組合負担金	1,114,533	2.8	1,114,533	1,003,879	10.5
繰出金	2,000,307	4.9	1,821,317	1,205,005	12.6
積立金	17,773,308	43.9	386,315	-	-
投資・出資金・貸付金	269,203	0.7	140,803	-	-
前年度繰上充用金	-	-	-	-	-
投資的経費計	2,392,776	5.9	1,755,314	-	-
うち人件費	25,436	0.1	25,436	-	-
普通建設事業費	1,580,189	3.9	1,269,015	-	-
うち補助	709,395	1.8	460,976	-	-
うち単独	866,158	2.1	803,403	-	-
災害復旧事業費	812,587	2.0	486,299	-	-
失業対策事業費	-	-	-	-	-
歳出合計	40,473,759	100.0	13,276,343	-	-

(2) 各会計、関係団体の財政状況及び健全化判断比率（市町村）

平成23年度 福島県相馬市

一般会計等の財政状況(単位:百万円)

会計名	歳入	歳出	形式収支	実質収支	他会計等からの繰入金	地方債現在高	備考
1 一般会計	42,008	40,185	1,823	1,411	10	13,815	
2 光陽地区造成事業特別会計	954	788	166	166	-		
3							
4							
5							
6							
7							
8							
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
16							
17							
18							
19							
20							
21							
22							
23							
24							
25							
26							
27							
28							
29							
30							
31							
32							
33							
34							
35							
36							
37							
38							
39							
40							
41							
42							
43							
44							
45							
46							
47							
48							
49							
50							
51							
52							
53							
54							
55							
56							
57							
58							
59							
60							
61							
62							
63							
64							
65							
66							
67							
68							
69							
70							
71							
72							
73							
74							
75							
76							
77							
78							
79							
80							
81							
82							
83							
84							
85							
86							
87							
88							
89							
90							
91							
92							
93							
94							
95							
96							
97							
98							
99							
100							
101							
102							
103							
104							
105							
106							
107							
108							
109							
110							
111							
112							
113							
114							
115							
116							
117							
118							
119							
120							
121							
122							
123							
124							
125							
126							
127							
128							
129							
130							
131							
132							
133							
134							
135							
136							
137							
138							
139							
140							
141							
142							
143							
144							
145							
146							
147							
148							
149							
150							
151							
152							
153							
154							
155							
156							
157							
158							
159							
160							
161							
162							
163							
164							
165							
166							
167							
168							
169							
170							
171							
172							
173							
174							
175							
176							
177							
178							
179							
180							
181							
182							
183							
184							
185							
186							
187							
188							
189							
190							
191							
192							
193							
194							
195							
196							
197							
198							
199							
200							
201							
202							
203							
204							
205							
206							
207							
208							
209							
210							
211							
212							
213							
214							
215							
216							
217							
218							
219							
220							
221							
222							
223							
224							
225							
226							
227							
228							
229							
230							
231							
232							
233							
234							
235							
236							
237							
238							
239							
240							
241							
242							
243							
244							
245							
246							
247							
248							
249							
250							
251							
252							
253							
254							
255							
256							
257							
258							
259							
260							
261							
262							
263							
264							
265							
266							
267							
268							
269							
270							
271							
272							
273							
274							
275							
276							
277							
278							
279							
280							
281							
282							
283							
284							
285							
286							
287							
288							
289							
290							
291							
292							
293							
294							
295							
296							
297							

(3) 市町村財政比較分析表(普通会計決算)

人口	36,601人	(H24.3.31現在)
面積	197.67km ²	
人口密度	185.3人/km ²	
実収支差	1,576,730千円	
標準財政規模	9,117,489千円	
地方債現在高	13,815,394千円	
実収支差	197.67千円	
人口総額	42,462,507千円	
面積	40,473,759千円	
実収支差	1,576,730千円	
標準財政規模	9,117,489千円	
地方債現在高	13,815,394千円	

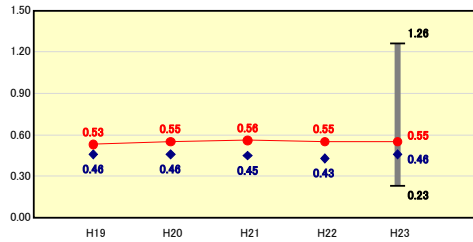
● 当該団体値
◆ 類似団体内平均値
T 類似団体内の最大値及び最小値

※市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。
※平成24年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく実収支差率及び将来負担比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。
※充当可能財源等が将来負担額を上回っている団体については、将来負担比率のグラフを表記しない。
※類似団体内平均値は、充当可能財源等が将来負担額を上回っている団体を含めた加重平均であるため、最小値を下回ることがある。
※「人件費・物件費等の状況」の決算額は、人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし、人件費には事業費支出人件費を含み、退職金は含まない。

財政力

財政力指数 [0.55]

類似団体内順位 15/82 全国平均 0.51 福島県平均 0.45

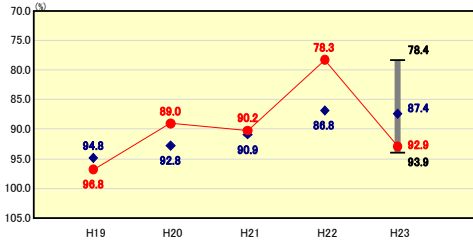


財政力指数の分析欄
財政力指数が類似団体の平均値を上回っているのは、償却資産等の固定資産税をはじめとした地方税が比較的高いためである。今後も誘致企業の設備に対する固定資産税の増加が見込まれ、財政力指数も微増となる予定ではあるが、市税の徴収率が90%を下回っているため、徴収率の向上を図り歳入確保を積極的に努めていきたい。

財政構造の弾力性

経常収支比率 [92.9%]

類似団体内順位 58/82 全国平均 90.3 福島県平均 87.6

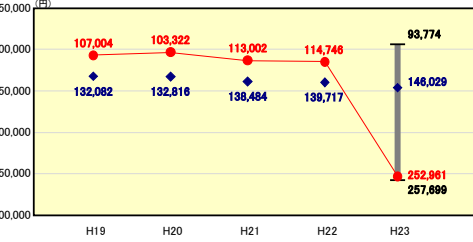


経常収支比率の分析欄
東日本大震災の影響により平成22年度の退職金の支払いを繰延べしたことによって、平成23年度の退職金が大きく伸びたことや議員共済負担金の増の為、人件費が大きく増となった。一方で地方税、普通交付税、石炭灰処分手数料収入の減により経常収支比率が類似団体を上回ることとなった。

人件費・物件費等の状況

人口1人当たり人件費・物件費等決算額 [252,961円]

類似団体内順位 61/82 全国平均 119,477 福島県平均 142,785

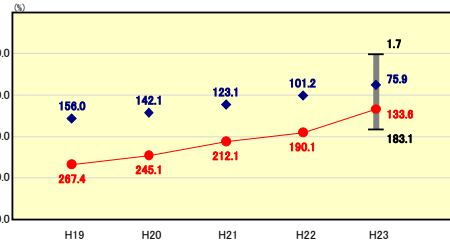


人口1人当たり人件費・物件費等決算額の分析欄
今回人口1人当たり人件費・物件費等の決算額が類似団体の平均値を大きく上回っているのは、東日本大震災により平成22年度の退職金を繰延べしたこと、災害復旧・復興に係る物件費の大きな伸びが要因である。

将来負担の状況

将来負担比率 [133.6%]

類似団体内順位 53/82 全国平均 69.2 福島県平均 55.2

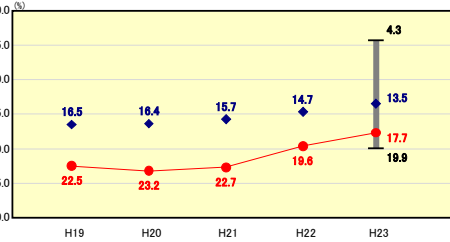


将来負担比率の分析欄
類似団体の平均値を大きく上回っている主な原因は、類似団体のなかでも桁外れに大きい債務負担行為額である。その主なものは昭和55年度から平成20年度に行われた県営事業松ヶ房ダム整備に対する元利補給金であり、平成44年度までに約45億円の負担がある。今後は災害等の貸付金等に係る損失補償、利子補給などの市民生活に直結したもの以外の債務負担行為は設定しない方針であり、徐々にではあるが減少していく予定である。

公債費負担の状況

実質公債費比率 [17.7%]

類似団体内順位 54/82 全国平均 9.9 福島県平均 11.5

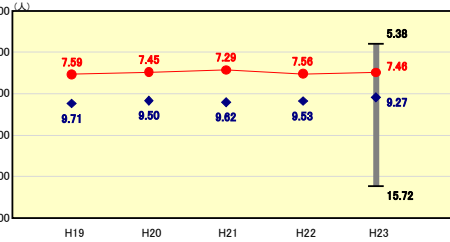


実質公債費比率の分析欄
平成5年から10年ごろに大きく行った普通建設事業費に係る起債の償還や、県営事業松ヶ房ダム整備などの債務負担額に係る支出によって、類似団体の平均値を上回っている状況にあるが、公債費自体は平成19年度をピークに、債務負担に係る支出は平成22年度をピークに減少しており、今後も実質公債費比率は減少していく見込みである。

定員管理の状況

人口千人当たり職員数 [7.46人]

類似団体内順位 13/82 全国平均 7.17 福島県平均 7.43

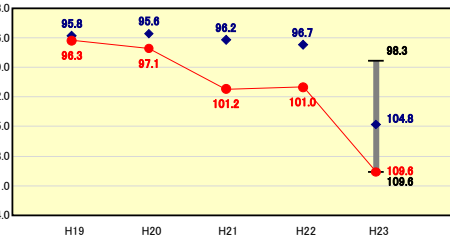


人口千人当たり職員数の分析欄
相馬市行財政改革における事務事業の効率化、一部組織機構の見直しを実施したことで職員数の適正化を図り、平成18年度から平成22年度までに48人の職員を削減した。

給与水準(国との比較)

ラスパイレース指数 [109.6]

類似団体内順位 62/82 全国市平均 106.9 全国町村平均 103.3



ラスパイレース指数の分析欄
ラスパイレース指数の上昇は、国家公務員が平成24年4月から2年間、東日本大震災の復興財源を確保するために国家公務員の給与の改定及び臨時特例に関する法律に基づき平均7.8%の給与増給措置を行っていることが主な要因である。

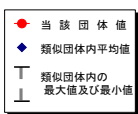
(4)-1 市町村経常経費分析表(普通会計決算)

平成23年度

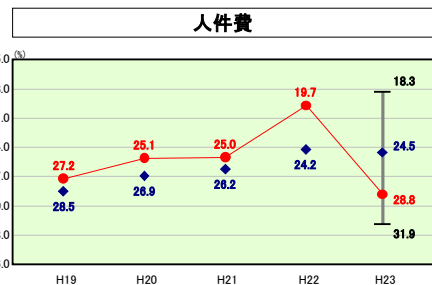
福島県相馬市

経常収支比率の分析

人口	36,601人 (H24.3.31現在)	実収支比率	- %
面積	197.67 km ²	実収支赤字比率	- %
人口総額	42,462,507千円	実収支公債費比率	17.7 %
人口総額	40,473,759千円	実収支将来負担比率	133.6 %
人口総額	1,576,730千円	市町村類型	H19 I-1 H20 I-1 H21 I-1 H22 I-1 H23 I-O
人口総額	9,117,489千円	市	
人口総額	13,815,394千円	町	
		村	
		年	
		度	
		毎	
		年	

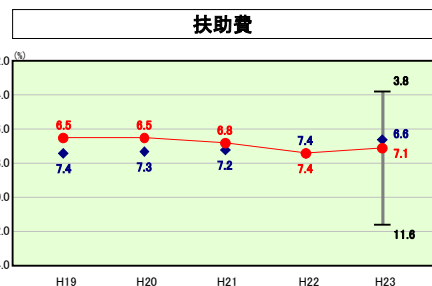


※ 市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。



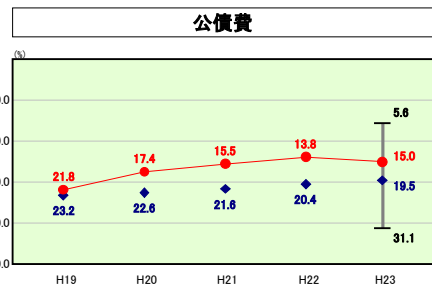
類似団体内順位 54/62 全国平均 25.4 福島県平均 25.4

人件費の分析欄
類似団体内の平均と大きく乖離した原因としては、東日本大震災により平成22年度の退職金を繰延べしたことにより、平成23年度の支出が大きくなったことや、災害対応に係る時間外勤務手当の増、議員共済組合負担分の増が要因である。



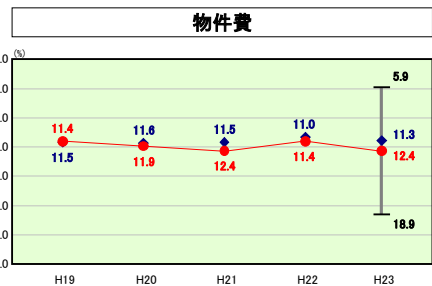
類似団体内順位 39/62 全国平均 10.5 福島県平均 7.0

扶助費の分析欄
類似団体を上回ったのは、東日本大震災の被災者への弔慰金、自立支援金等の支払いが大きな要因である。今後も生活保護費等について適正に対応していきたい。



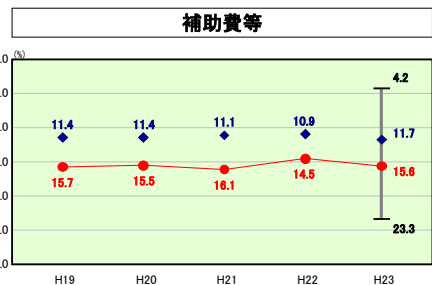
類似団体内順位 9/62 全国平均 19.0 福島県平均 17.9

公債費の分析欄
公債費に関しては、類似団体と比較すると平均値を下回っている。また地方債の現在高についても平均値を下回っている。市債の発行については今後も引き続き必要最小限の事業を選別しながら実施して行きたい。



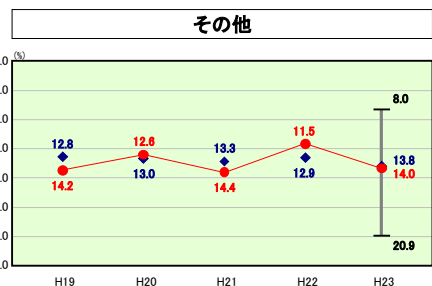
類似団体内順位 37/62 全国平均 13.1 福島県平均 12.8

物件費の分析欄
行財政改革によって、これまでは類似団体の平均値に近い数値で推移してきたが、平成23年度は東日本大震災からの復旧・復興事業により物費費は増となった。



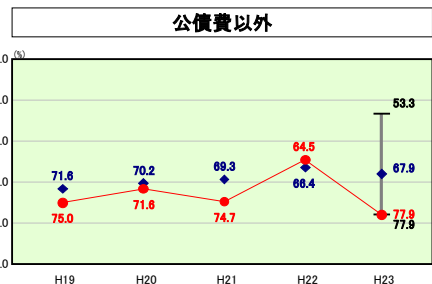
類似団体内順位 48/62 全国平均 10.1 福島県平均 10.3

補助費等の分析欄
類似団体平均を上回っているのは公立相馬総合病院への負担金をはじめ、様々な団体への補助金が多額になっているためである。今後も、対象事業の適当性を細かく見極めて、不適当な補助金は見直しや廃止を積極的に行う方針である。



類似団体内順位 34/62 全国平均 12.2 福島県平均 14.2

その他の分析欄
平成23年度決算で類似団体平均を上回った要因は、道路等の公共施設にかかる維持補修費が例年に比べ上がったためである。なお、毎年の率変動の要因についても、この維持補修費の額の変動によるものである。



類似団体内順位 62/62 全国平均 71.3 福島県平均 69.7

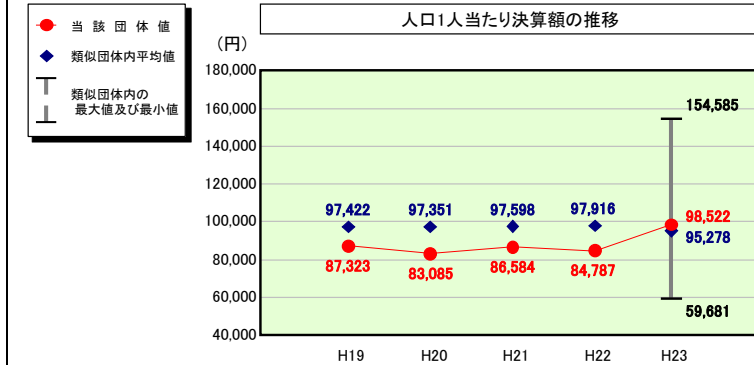
公債費以外の分析欄
平成23年度決算においての公債費以外の比率については、類似団体平均を大きく上回っている。その要因としては、退職金の支出延期による人件費の増大のためである。今後は引き続き災害復旧・復興業務のため全体的に平均値を超えることが予想される。

(4)-2 市町村経常経費分析表(普通会計決算)

平成23年度

福島県相馬市

人件費及び人件費に準ずる費用の分析



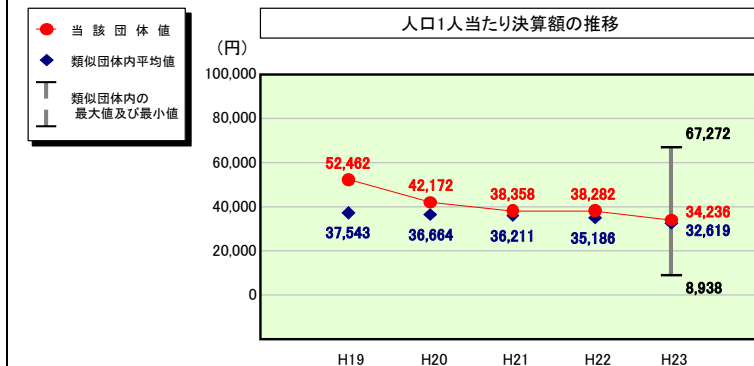
人件費及び人件費に準ずる費用

	当該団体決算額 (千円)	人口1人当たり決算額		
		当該団体(円)	類似団体平均(円)	対比(%)
人件費	3,170,983	86,637	84,551	▲ 2.5
賃金(物件費)	331,513	9,057	6,401	▲ 41.5
一部事務組合負担金(補助費等)	539,145	14,730	8,091	▲ 82.1
公営企業(法適)等に対する繰出し(補助費等)	50,774	1,387	1,218	▲ 13.9
公営企業(法適)等に対する繰出し(投資及び出資金・貸付金)	-	-	-	-
公営企業(法非適)等に対する繰出し(繰出金)	116,402	3,180	3,516	▲ 9.6
事業費支弁に係る職員の人件費(投資的経費)	25,436	695	1,649	▲ 57.9
▲退職金	▲ 628,258	▲ 17,165	▲ 10,148	▲ 69.1
合計	3,605,995	98,522	95,278	▲ 3.4

参考

	当該団体	類似団体平均	対比(差引)
人口1,000人当たり職員数(人)	7.46	9.27	▲ 1.81
ラスパイレース指数	109.6	104.8	▲ 4.8

公債費及び公債費に準ずる費用の分析

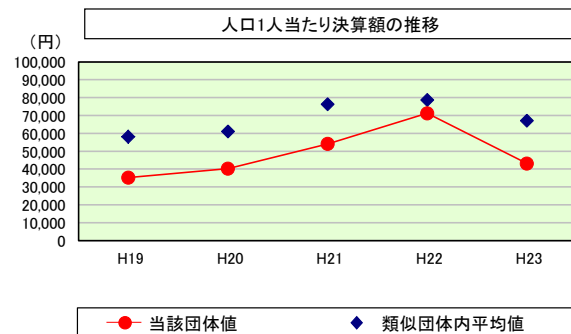


公債費及び公債費に準ずる費用(実質公債費比率の構成要素)

	当該団体決算額 (千円)	人口1人当たり決算額		
		当該団体(円)	類似団体平均(円)	対比(%)
元利償還金の額 (繰上償還額等を除く)	1,497,806	40,923	62,533	▲ 34.6
積立不足額を考慮して算定した額	-	-	-	-
満期一括償還地方債の一年当たりの元金償還に相当するもの (年度割相当額)	-	-	5	-
公営企業に要する経費の財源とする地方債の償還の財源に 充てたと認められる繰入金	446,643	12,203	18,364	▲ 33.5
一部事務組合等の起こした地方債に充てたと認められる 補助金又は負担金	357,451	9,766	4,570	▲ 113.7
公債費に準ずる債務負担行為に係るもの	375,326	10,255	2,681	▲ 282.5
一時借入金利子 (同一団体における会計間の現金運用に係る利子は除く)	-	-	9	-
▲特定財源の額	▲ 62,088	▲ 1,696	▲ 3,959	▲ 57.2
▲地方債に係る元利償還金及び準元利償還金に要する経費として 普通交付税の額の算定に用いる基準財政需要額に算入された額	▲ 1,362,061	▲ 37,214	▲ 51,583	▲ 27.9
合計	1,253,077	34,236	32,619	▲ 5.0

※平成24年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく実質公債費比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。

(参考) 普通建設事業費の分析



普通建設事業費

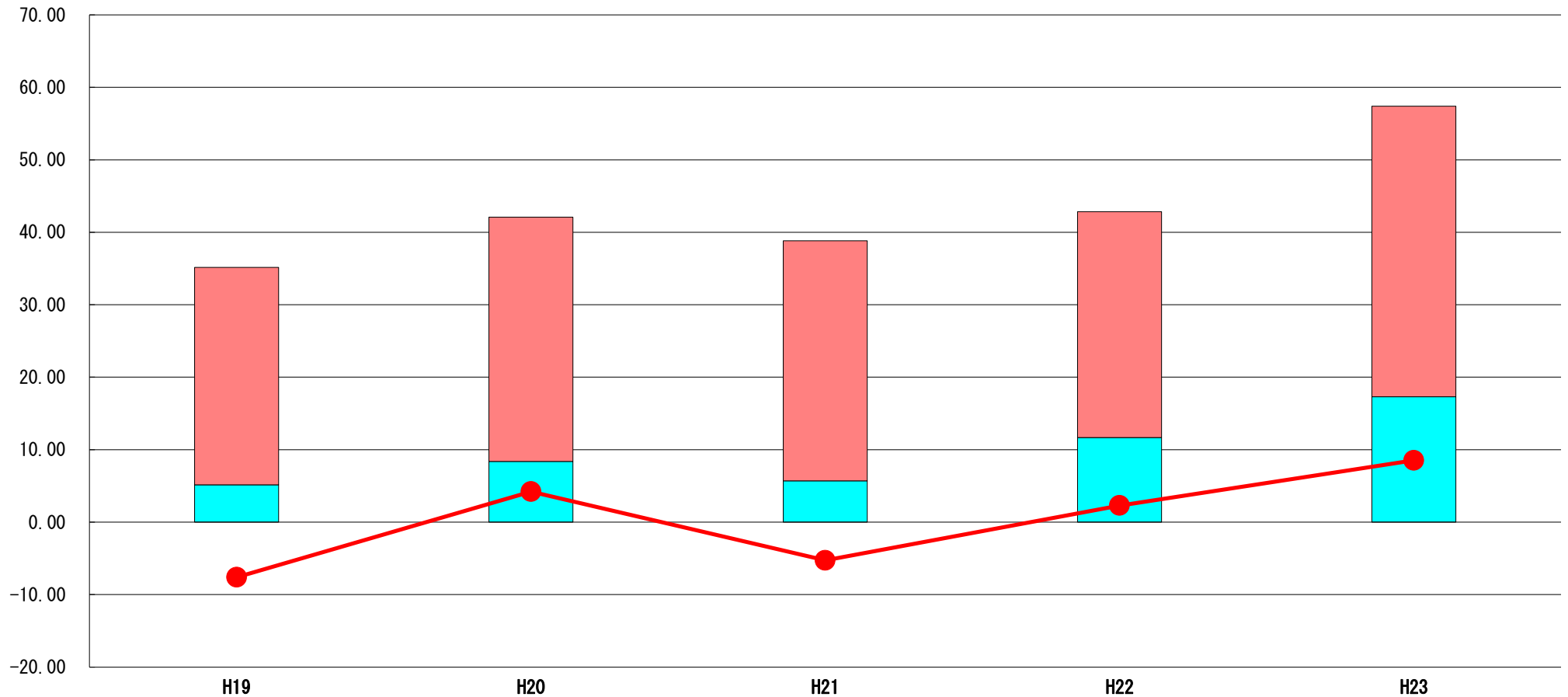
	当該団体決算額 (千円)	人口1人当たり決算額				
		当該団体(円)	増減率(%) (A)	類似団体平均(円)	増減率(%) (B)	(A)-(B)
H19	1,369,085	35,210	▲ 21.1	58,137	▲ 9.6	▲ 11.5
うち単独分	1,205,267	30,997	▲ 23.5	29,406	▲ 13.9	▲ 9.6
H20	1,554,836	40,245	▲ 14.3	61,050	5.0	▲ 9.3
うち単独分	1,430,302	37,022	▲ 19.4	31,167	6.0	▲ 13.4
H21	2,064,396	54,128	▲ 34.5	76,282	25.0	▲ 9.5
うち単独分	1,738,352	45,579	▲ 23.1	41,092	31.8	▲ 8.7
H22	2,677,221	71,263	▲ 31.7	78,670	3.1	▲ 28.6
うち単独分	933,082	24,837	▲ 45.5	38,094	▲ 7.3	▲ 38.2
H23	1,580,189	43,173	▲ 39.4	67,088	▲ 14.7	▲ 24.7
うち単独分	866,158	23,665	▲ 4.7	37,146	▲ 2.5	▲ 2.2
過去5年間平均	1,849,145	48,804	▲ 4.0	68,245	1.8	▲ 2.2
うち単独分	1,234,632	32,420	▲ 6.2	35,381	2.8	▲ 9.0

(5) 実質収支比率等に係る経年分析（市町村）




平成23年度

福島県相馬市

標準財政規模比（%）



標準財政規模比（%）

区分	年度	H19	H20	H21	H22	H23
 財政調整基金残高		30.01	33.70	33.15	31.17	40.10
 実質収支額		5.15	8.39	5.69	11.66	17.29
 実質単年度収支		▲ 7.61	4.21	▲ 5.28	2.29	8.52

分析欄

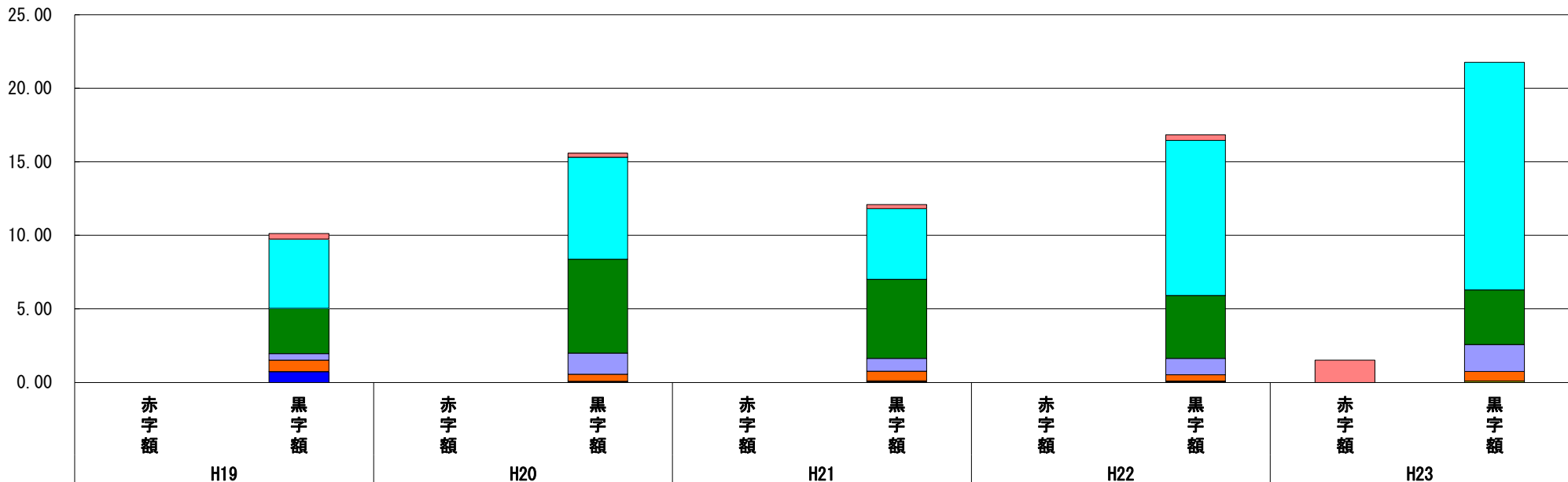
財政調整基金残高は前年から大きく増となり標準財政規模比が40.10となった。普通建設事業が少なかった平成20年度と交付税や臨財債、普通建設に係る国庫補助などの歳入が多かった平成22年度は比率としては高くなり、復興交付金や寄付金等の歳入増によって平成23年度も引き続き比率が高くなった。同じく実質収支についても、平成23年度は15億円と増えた為、比率も高くなっている。実質単年度収支についても前記のとおりとなっている。

(6) 連結実質赤字比率に係る赤字・黒字の構成分析（市町村）

平成23年度

福島県相馬市

標準財政規模比（％）



標準財政規模比（％）

会計	年度	H19	H20	H21	H22	H23
公共下水道事業		0.37	0.27	0.28	0.38	▲ 1.52
一般会計		4.70	6.94	4.81	10.55	15.47
国民健康保険特別会計		3.09	6.38	5.37	4.28	3.72
光陽地区造成事業特別会計		0.45	1.45	0.88	1.11	1.82
介護保険特別会計		0.76	0.47	0.65	0.42	0.65
農業集落排水事業		0.02	0.03	0.03	0.05	0.09
後期高齢者医療事業会計		-	0.04	0.03	0.03	0.01
其他会計（赤字）		-	-	-	-	-
其他会計（黒字）		0.73	0.01	0.05	0.02	-

分析欄

平成23年度において公共下水道事業で赤字が発生した。今回の赤字が発生した要因は、公共土木施設災害復旧事業費国庫負担金の暫定嵩上分が未入金となったためである。この未入金分については平成24年度に入金予定であるため、不足分を24年度予算から補てん（繰上充用）で対応した。

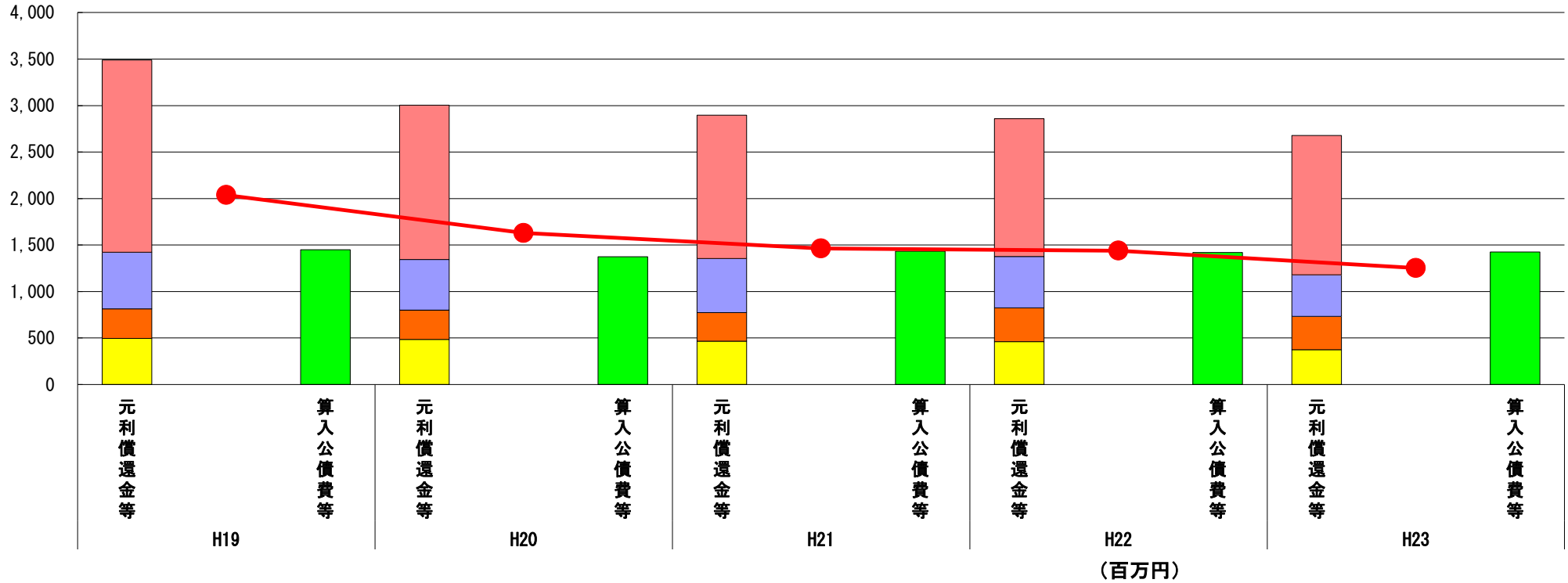
※平成24年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく連結実質赤字比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。

(7) 実質公債費比率（分子）の構造（市町村）

平成23年度

福島県相馬市

(百万円)



分子の構造		年度	H19	H20	H21	H22	H23
元利償還金等 (A)	元利償還金		2,065	1,658	1,541	1,481	1,498
	減債基金積立不足算定額		-	-	-	-	-
	満期一括償還地方債に係る年度割相当額		-	-	-	-	-
	公営企業債の元利償還金に対する繰入金		609	545	581	553	447
	組合等が起こした地方債の元利償還金に対する負担金等		319	315	309	363	357
	債務負担行為に基づく支出額		495	485	465	461	375
	一時借入金の利子		-	-	-	-	-
算入公債費等 (B)	算入公債費等		1,450	1,374	1,433	1,419	1,425
(A) - (B)	実質公債費比率の分子		2,038	1,629	1,463	1,439	1,252

分析欄

平成5年から10年ごろに大きく行った公共事業に係る起債の償還や、県営事業松ヶ房ダム整備などの債務負担額に係る支出によって、実質公債費率の分子は減少してはいるが、高い位置で推移している。今後は、交付税措置のある地方債以外の発行を行わないなど、地方債及び債務負担の設定について慎重に行っていく方針であるため、確実に減少していく見込みである。

※平成19年度決算と平成20年度決算の元利償還金は特定財源の額を控除しており、満期一括償還地方債に係る年度割相当額は減債基金積立不足算定額を含んでいる。

※平成21年度決算以降の算入公債費等は特定財源の額を含んでいる。

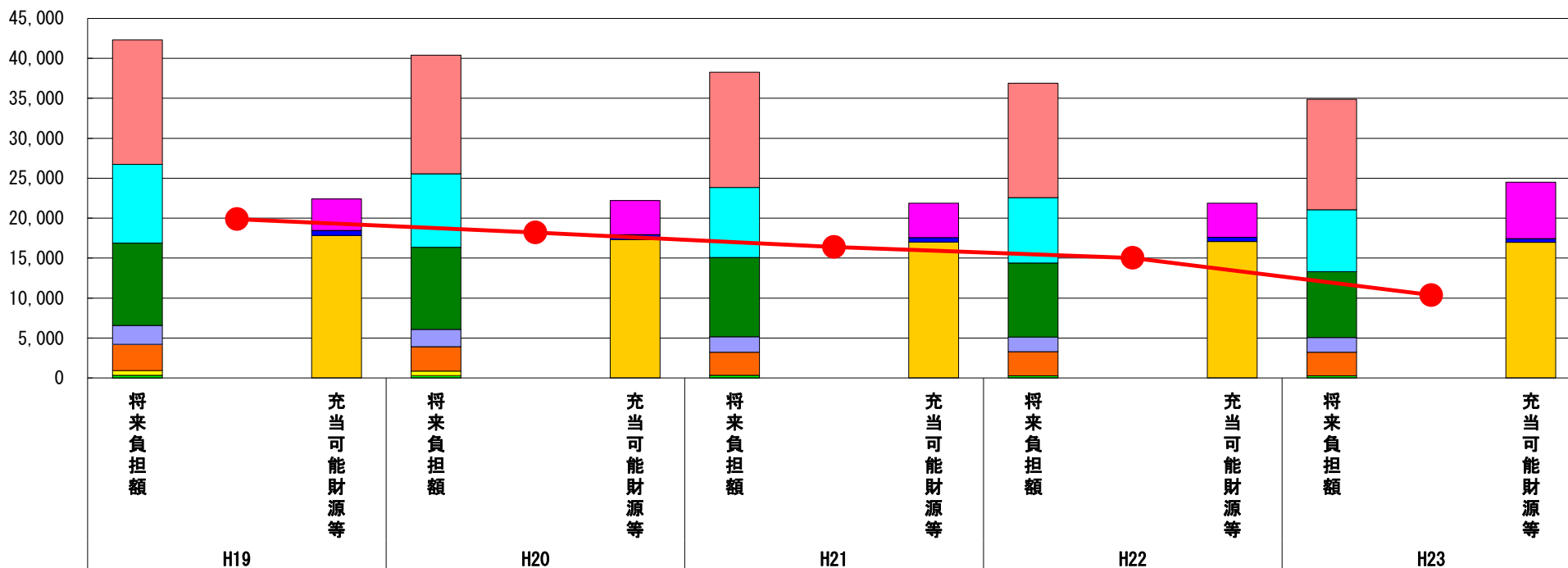
※平成24年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく実質公債費比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。

(8) 将来負担比率（分子）の構造（市町村）

平成23年度

福島県相馬市

(百万円)



(百万円)

分子の構造		年度	H19	H20	H21	H22	H23
将来負担額 (A)	一般会計に係る地方債の現在高		15,551	14,846	14,403	14,326	13,815
	債務負担行為に基づく支出予定額		9,853	9,202	8,762	8,178	7,769
	公営企業債等繰入見込額		10,308	10,272	9,931	9,242	8,237
	組合等負担等見込額		2,365	2,147	1,935	1,852	1,824
	退職手当負担見込額		3,289	3,081	2,884	3,033	2,964
	設立法人等の負債額等負担見込額		580	537	-	-	-
	連結実質赤字額		-	-	-	-	-
	組合等連結実質赤字額負担見込額		348	311	335	259	272
充当可能財源等 (B)	充当可能基金		3,936	4,245	4,286	4,253	7,087
	充当可能特定歳入		634	636	578	518	461
	基準財政需要額算入見込額		17,837	17,307	17,000	17,096	16,968
(A) - (B)	将来負担比率の分子		19,887	18,208	16,387	15,023	10,367

分析欄

将来負担比率の分子については、公共事業に係る地方債や、昭和55年度から平成20年度に行われた県営事業松ヶ房ダム整備に対する元利補給金が大きな負担額として残っているが、平成20年度以降は、必要最小限の地方債の発行及び市民生活に直結したもののみの債務負担行為の設定を進めてきたこともあり、確実に減少してきている。また財政調整基金などの充当可能財源については、大きな基金の取崩しもなく、ほぼ同ペースで来ていて、今後もこの状況が続くことが見込まれることから、今後の将来負担比率の分子は高い水準ではあるが着実に減少していくことが予想される。

※平成24年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく将来負担比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。